

# 兵庫県のり漁場環境情報 (淡路周辺海域 臨時 号)

この海域では依然大型珪藻コシノディスカスが見られますが、発生量は減少しています。窒素は西浦海域・南浦海域で1  $\mu\text{g-at/L}$ 台、東浦海域で概ね2  $\mu\text{g-at/L}$ 台の値でした。

2021年11月29日発行  
兵庫のり研究所

**(珪藻)**

各海域のコシノディスカス発生量 (海水1 Lあたり) は以下の通り。

東浦：150～250細胞 (前回値：500～600細胞)

西浦：250細胞程度 (前回値：400細胞)

南浦：100細胞前後 (前回値：400～700細胞)

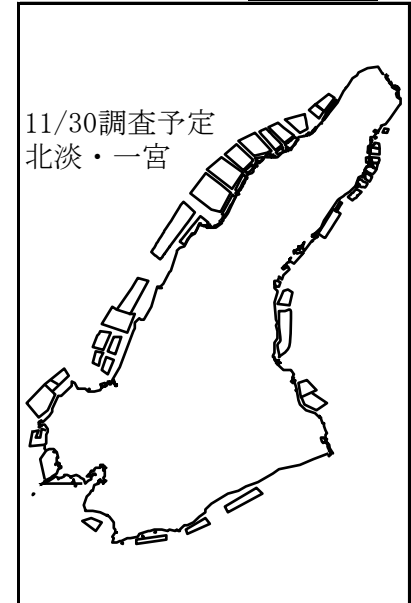
南浦ではコシノディスカスの色素は薄くなっており、活力が低下していると思われる。

		前回値	今回値	平年値	昨年値
東浦地先	窒素	2.4	2.5	6.2	3.4
	リン	0.40	0.45	0.58	0.51
西浦地先	窒素	1.1	1.3	5.5	2.5
	リン	0.37	0.57	0.63	0.65
南浦地先	窒素	1.5	1.4	5.3	2.7
	リン	0.38	0.41	0.59	0.60

(11/25)

(11/25)

**水温図**



**栄養塩 (窒素) 図**

2021年11月29日調査

